

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

膵胆道腫瘍の分子病理疫学解析による腫瘍サブタイプの検討に関する研究**1. 研究の対象**

2001年1月1日 から 2021年12月31日 までの間に、当院の消化器外科ならびに消化器内科で膵胆道腫瘍（疑いも含む）の外科的切除術、生検あるいは細胞診検査を行った18歳以上の方

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2029年10月31日 まで

3. 研究目的・方法

下記の試料・診療情報等を利用し、膵臓・胆道腫瘍のなかで今まで発見されていなかった特徴的な一群（腫瘍サブタイプ）をみつけることを目的とした研究を実施します。当院において膵臓・胆道腫瘍（疑いを含む）の病理検査を受けられた方を対象として、研究者が診療情報と病理試料から得られた遺伝子・蛋白質情報を解析し、腫瘍サブタイプを特徴づけるデータを選び、腫瘍の悪性度や生存予後に関する分析を行い、分析結果をもとに効果的な治療法・診断法・予防法の提案を目指します。

この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目4に記載する検体を使用させていただきます。また、この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきます。これらに際し、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：病理診断後に保管されている病理検体（組織スライド、細胞診スライド、ホルマリン固定後残組織および細胞診残試料）
- ・ 情報：年齢、性別、血液型、原疾患、生活歴、家族歴、既往歴、治療歴、服薬歴、身体所見、血液検査結果、画像検査所見、内視鏡所見、手術所見、病理検査所見、細胞診検査所見、生存予後情報

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：3171）

研究責任者 医学科基盤診療学系病理診断学 眞杉 洋平

問い合わせ担当者 医学科基盤診療学系病理診断学 眞杉 洋平